

令和4年度 現代社会探究 シラバス

【単位数：2単位 履修年次：4年次選択科目】

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会の様々な問題に興味関心を持ち、その特徴を正しく理解できる 2 現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。 3 学び直しという観点で、1年次に履修した「現代社会」の学びを深める。
使用教科書 副教材等	<p>特になし 適宜プリントや資料を配付して授業を進める。</p> <p>参考資料：ニュース検定（3・4級）毎日新聞出版</p>

2 学習計画および評価方法等

(1) 学習計画など

学期	月	学習内容	学習のねらい
前期	4	<p>前期オリエンテーション</p> <p>「現代社会の見方・考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主主義とは ・現代社会の諸問題の特徴 ・現代社会をとらえる視点 <p>「新聞の読み方・ニュースの見方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国紙と地方紙 ・新聞ができるまで ・紙面の構成と読み方 ・新聞を読んでみよう 	<p>「現代社会探究」を学ぶ意義、学習の方法や評価の仕方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会制民主主義の意義について考え、政治に関心をもって生活することが大切であると理解する。 ・現代社会の諸課題について、幸福、正義、公正などの観点から多面的、多角的に考察する。 ・新聞が、多様な情報を収集する重要なツールであるとともに、日々の生活において、ものを考え、発言し、行動する上で重要な判断材料となることを理解する。 ・現代社会のできごとを多角的、公正に理解、判断する力を養う。
	5	<p>テーマ『暮らし』</p> <p>「日本の少子高齢化問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の原因と課題 ・人口減少と外国人労働者受け入れ ・少子化対策と高齢者の生きがい <p>「社会保障問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会保障制度 ・社会保障費制度の現状と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の進行理由と、少子高齢化現象がもたらしている課題を考える ・増える外国人労働者の現状と課題について考察する。 ・高齢期を豊かに生きるためには何が必要か、人間の在り方生き方を考える。 ・社会保障制度を理解し、現状と課題について考察する。 ・少子高齢社会における社会保障制度の在り方について考察する。
	6	<p>テーマ『暮らし』</p> <p>「労働者の権利と労働問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参画について（働くことの意義） ・労働者の権利 ・ブラック問題と働き方改革 ・働き方改革関連法が目指すもの <p>「消費者問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利とそれを守る仕組み ・消費者被害の手口と解決法 ・ローンやクレジットカードについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活と社会参加が自己実現と密接に関係していることを理解する。 ・労働者の権利の必要性和近年の雇用や労働をめぐる現状や課題について理解する。 ・多様な働き方ができる社会について考察する。 ・消費者問題について理解するとともに、消費者の権利と保護について理解する。 ・自立した消費者の意識を高める。

前期	7	<p>テーマ『政治』 「日本の政治機構」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会のしくみと役割 ・内閣の役割と責任 <p>「選挙制度と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙制度とその課題 ・地方自治と地方選挙 ・成人年齢の引き下げと選挙参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会の役割と権限、国会の構成と運営、現状と改革の動きについて理解する。 ・行政権である内閣の職務と権限や現代の行政の課題について理解する。 ・民主政治における選挙について、選挙制度やそれらをめぐる課題について理解する。 ・地方公共団体の仕事やその課題、住民の政治参加の意義などについて考察する。 ・18歳に選挙権が付与されたことの意味を理解し、その課題を考察する。
	8	<p>テーマ『政治』 「日本国憲法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法とは 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法成立の経緯とその基本原理について理解する。 ・自衛隊をめぐる今日的な問題と憲法第9条の改正に係る議論の争点を理解する。
	9	<p>テーマ『経済』 「政府と財政の役割とその課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の仕組み ・財政の課題 <p>「消費税10%の影響」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化と借金 ・アベノミクスの行方 ・消費税引き上げと軽減税率 <p>前期学習の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財政のしくみと、わが国が直面している様々な財政上の問題点について理解する。 ・身近な事例を通して、社会資本と公共サービスの提供を政府が行っていることに気づき、政府が果たしている役割を考える。 ・少子高齢化に伴う増税の理由について理解する。 ・景気回復のための経済政策を考察する。 ・前期の学習を振り返り主権者としての意識を高める。
<p>【課題・提出物等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業ごとのプリント提出（確認して返却） 2 定期考査ごとにプリントをつづったファイルを提出。 3 必要に応じて、課題を提出させる場合があります。（夏休みの課題等） 			
<p>【前期の評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中間・期末考査の成績、プリントファイルの提出物および、授業への参加意欲や態度で評価。 2 学期全体の評価は定期考査6割程度、提出物・参加態度などで4割の配分で行い、総合的に評価します。 			
後期	10	<p>後期オリエンテーション</p> <p>テーマ『経済』 「変わる日本の貿易・産業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ貿易をするのか ・経済連携協定（TPP）とは ・円安のメリット、デメリット ・貿易ゲームをしてみよう ・中小企業と農業の問題 	<p>「現代社会探求」を学ぶ意義、学習の方法や評価の仕方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義、自由貿易と保護貿易、企業の展開と国際分業の実態について理解する。 ・国際収支や為替のしくみについて理解する。 ・貿易ゲームを通して、世界貿易の現状と課題について考察する。 ・中小企業や農業をめぐる現状と課題について理解する。
	11	<p>テーマ『社会・環境』 「地球環境問題とエネルギー資源」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の原因と現状 ・地球温暖化に関する国際的な取り組み ・海に流れ出るプラスチック問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題について多面的に理解し、持続可能な開発に向けた課題について考察する。 ・温暖化対策にかかわる国家間の利害の対立と調整について考察する。 ・プラスチックの海洋汚染問題について考察する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性を守るために ・原子力エネルギーの現状と課題 ・自然災害と原発事故 ・低炭素社会の実現に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源・エネルギー問題について多面的に理解し、低炭素社会の実現のための課題について考察する。 ・循環型社会を構築していくことの大切さを理解し、その知識を身に付ける。
12	<p>テーマ『社会・環境』 「生命倫理の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療の進歩と生命のあり方 ・遺伝子技術の活用と課題 ・臓器移植について考える ・再生医療の可能性 ・国民病のがん 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術の発達が生倫理の課題をもたらしていることを理解し、臓器移植や再生医療の進歩、バイオテクノロジーの進歩と生命操作などについて考察する。 ・生命科学や科学技術の発展に伴い、従来の生命観のみでは対処することが難しいことを理解する。
1	<p>テーマ『社会・環境』 「共生社会への道のり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の子が抱える課題 ・選択的夫婦別姓制度 ・性的少数者が暮らしやすい社会へ ・障害者に配慮した社会へ ・日本の難民認定 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者を理解し、個々の違いを認め、尊重することができるようにする。 ・共生社会を実現するために、自分にできることを考え判断、行動する力を身につける。 ・「障害者差別解消法」を学び、共生社会や合理的配慮の提供について理解する。 ・日本の難民の現状と課題について考察する。
2	<p>テーマ『国際』 「主な国々との外交と領土問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会と国家 ・日本の領土問題 ・世界の地域紛争 ・国際協力と日本の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の三要素、国家間の諸問題と外交、国際法の意義と国際法の種類などについて理解する。 ・主権者として領土問題に関心を持ち、問題解決を図ろうとする態度を養う。 ・人種問題や民族問題の原因やその解決策について考察する。 ・国際平和や経済、環境面で日本が果たす役割、国際貢献について考察する。
3	<p>1年間の学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返り ・将来への課題を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習で得られた知識や見方、考え方を振り返り、主権者としてよりよい社会形成に向けて、積極的に社会に参画する意識を高める。

【課題・提出物等】

- 1 授業ごとのプリント提出（確認して返却）
- 2 定期考査ごとにプリントをつづったファイルを提出。
- 3 必要に応じて、課題を提出させる場合があります。

【後期の評価方法】

- 1 中間・期末考査の成績、プリントファイルの提出物および、授業への参加意欲や態度で評価します。
- 2 学期全体の評価は定期考査6割程度、提出物・参加態度などで4割の配分で行い、総合的に評価します。

(2) 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・ 一生懸命最後までやろうと努力する意欲や態度がみられるか。・ 現代社会に対する関心を高めているか。・ 意欲的に課題を追求するとともに、現代社会の学習を通じて、国民としての責任を果たそうとしているか。	<ul style="list-style-type: none">・ 授業での態度・ 授業で使用するプリント
知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・ 現代社会に関する基本的な事項や日本人としての在り方・生き方を我が国を取り巻く国際環境などに関連づけて主体的に理解し、その知識を身につけているか。	<ul style="list-style-type: none">・ 前期中間考査・ 前期期末考査・ 後期中間考査・ 後期期末考査